

～市政報告会を開催します～

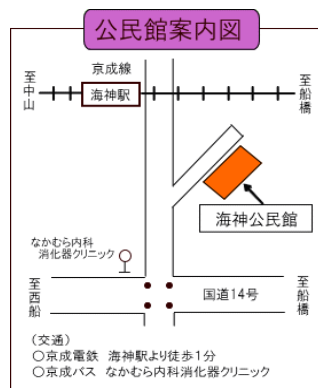
日時：平成22年2月21日（日）13時～14時半
（受付12時半～）

会場：海神公民館 講堂
（京成海神駅から徒歩1分）
※公共交通機関をご利用ください

ご来賓：藤代孝七 船橋市長

会費無料、事前申込不要です。

市政全般の問題から、地域の課題まで分かりやすくお話しします。
皆様お誘い合わせのうえぜひご参加ください。



今月の駅頭活動スケジュール（原則毎朝6時～9時）

月	火	水	木	金
JR 船橋駅	JR 東船橋駅	京成海神駅 東海神駅ほか	JR 西船橋駅	JR 津田沼駅

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

船橋市議会議員 日色 健人（ひいろ・たけと）プロフィール

1978年船橋市生まれ 31歳 二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。2007年4月の船橋市議会議員選挙において3457票を頂き初当選。現在1期目。総務委員会副委員長・会派「市政会」所属
地域での主な活動：ボーイスカウト船橋第3回団委員・船橋稲門会（早大OB会）幹事、ライオンズクラブ国際協会333-Cレオ地区会長、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員 ほか
趣味：アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘：Where there is a will, there is a way.（意志あるところ必ず道あり）

発行：ひいろ健人事務所 〒273-0021 船橋市海神4-5-6
TEL 047-420-1800 FAX 047-420-1801
E-mail info@taketo2784.net http://www.taketo2784.net (活動ブログ更新中!)

討 議 資 料

船橋市議会議員

日色健人（ひいろたけと）31歳の
視点・政策・活動をお伝えします

今号のテーマ

敬老事業の

大幅見直しに着手！

～「高齢者福祉サービス等のあり方について」報告書を読む～



たけと

ひいろ健人

船橋の論点

FUNABASHI AGENDA vol.28

税収の落ち込み等により、平成22年度予算案は、ここ数年では最も厳しい予算編成になると聞こえてきています。本当に必要なサービスは何か、見極めが必要です。

★敬老事業の大幅見直しに着手！

～「高齢者福祉サービス等のあり方について」報告書を読む！～

昨年11月、船橋市は標記報告書を公表しました。

これは、高齢者人口が増大し（平成21年10月現在で114,649人）、福祉ニーズが増大かつ多様化（ひとり暮らし、低所得者、介護認定者、認知症等）していく中で、高齢者福祉サービスを将来的にも持続可能かつ効果的なサービスに転換することが求められているという認識のもと、外部有識者・関係者を交え今後の方向性を検討したものです。

特に今回は、以前より再検討の必要性が言われていた4つの事業について大幅な見直しを求める結果となりました。以下、その概要をお伝えします。

①ひとり暮らし老人 無料入浴券交付事業

内容：65歳以上で一人暮らしの高齢者に、公衆浴場の無料券（420円×年60枚）を交付する。20年度決算額約3600万円。

目的：一人暮らしの高齢者が地域社会との交流を通じて孤独感の解消を図る。

問題点：閉じこもり予防の効果が不明、浴場のない地域（市北部など）では利用の機会がない。

見直し案：利用可能日を指定したうえで（交流の機会を狙う？）年36枚に削減。あわせて1回100円の自己負担を設ける。予算（試算）1800万円。

②はり・きゅうマッサージ等施術費助成事業

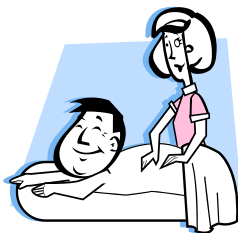
内容：65歳以上の高齢者に、はり・きゅう・マッサージ等の施術助成券（1000円×12枚）を交付する。20年度決算額約4500万円。

目的：施術を受けやすくし、高齢者の健康を増進させる。

問題点：予算の増加、効果の評価が困難

見直し案：対象者を70歳以上に引き上げ、かつ低所得（市民税非課税）の高齢者のみに限定する。

一方で、老老介護従事者などや、介護予防事業参加者などへ対象を拡大することもあわせて検討する。予算（試算）2900万円。



③敬老祝金・敬老記念品購入券事業

内容：75歳・77歳（喜寿）・85歳・88歳（米寿）・95歳・99歳（白寿）・100歳以上の高齢者に祝金や敬老記念品購入券（商品券）を贈る。20年度決算額約1億3000万円。

目的：高齢者を敬い、長寿を祝う。

問題点：平均寿命の延伸に伴う予算の増加、制度の重なり合い、そもそもお金を配ることが敬老か？

見直し案：77歳（1万円）、88歳（2万円）、99歳（3万円）、100歳以上（5万円）のみに一本化。予算（試算）8350万円。



④敬老行事交付金事業

内容：町会自治会等で敬老行事を開催する場合、交付金（地域に住む70歳以上の高齢者×2000円）を交付する。20年度決算額約1億4000万円。

目的：長寿を祝い、敬老思想の高揚を図る。

問題点：予算の増加、地域による敬老会参加率の高低、主催者の高齢化等

見直し案：対象年齢の75歳以上への引き上げ。予算（試算）9900万円。

来年度予算案として、正式にはまだ議会に提示はされていませんが、ほぼこの内容に沿って予算案は作成されるものと思われます。それぞれに多数の利用者がいる制度だけに、反発も予想されることから、幅広い周知と丁寧な説明を担当者には求めたいと思います。

税込増が見込めない中、現行のような「広く（誰でも）・薄く・効果は二の次」のサービスではなく、「本当にサービスを必要とする人に」「本当に必要な量を」「常に費用対効果を検証しつつ」提供する必要があると私は考えます。（今回の見直しでは、ただサービスを切るだけでなく、一人暮らし高齢者や認知症高齢者、老老介護従事者などへの別種のサービスの新設が盛り込まれていることも触れておきます。）その意味で、今回の見直しを評価するとともに、これにとどまらずあらゆる行政サービスにおいて不断の見直しを求めるものです。

また、当たり前の話ですが、サービスの切り下げや市民負担の増加はまず税金の無駄遣いが徹底されてからというのが大前提です。2月25日（月）から始まる3月議会では、市民の代弁者として無駄遣いのチェック、効率的な予算の編成となっているかを徹底的に審議したいと思います。